

その他の動力運搬機を起因物（小）とする死亡災害事例（1999-2020年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	業種 (小) コード	事故 の型 コー ド	労働 者規 模
1999	1	0 ～ 1	自動車ドアの自動組立ラインのコンベア部に不具合が生じたので修繕のため、トラバーサーに腹這いになり下部コンベアに上半身をもぐり込ませて作業を行っていたところ、突然トラバーサーが上昇し上部コンベアのベースとの間に胸部を挟まれた。	11502	7	100 ～ 299
1999	1	21 ～ 22	自動立体倉庫内において、出庫転換機とスタッカークレーンの動作を制御する検知器が不具合であるとの連絡を受け、同検知器の動作確認を行っていたところ、出庫転換機が動き出し検知器が設置されている鉄骨と出庫転換機のフックのと間に挟まれた。	11001	7	300 ～
1999	3	8 ～ 9	炉内のコークス塊を押出機で押出して、炉の蓋をしたのち、蓋と炉の隙間に不燃材を差し込むガス止め作業をしていた作業者が次の作業を行う炉に移動中に、走行中の押出機とコークス炉歩道との間にはさまれた。	11001	7	100 ～ 299
1999	3	14 ～ 15	コンクリートミキサー車で生コンを林道の舗装現場へ配達し、会社に戻るため道路上でバックでUターンしたときに31m下の水田に転落した。	10909	17	10～ 29
1999	5	11 ～ 12	一人で自動研磨機を使用して研磨作業を行っていたが、昼休みになっても休憩室に来なかったので、同僚が探しに行ったところ、大理石が載せられた機械に挟まれていた。	10909	7	10～ 29
1999	5	8 ～ 9	林業運搬機械のエンジンルームのカバーを閉めようとしてしていたときに、横付けされた別の林業運搬機械(車両系建設機械のアタッチメントを変えたもの)が旋回し、カウンターウエイト部と当該機械との間に	60201	7	1～9

			挟まれた。			
1999	6	18 ～ 19	養鶏場で飼料等を運ぶ動力運搬車を作業終了後に道路から倉庫の中に移動させていたところ、道路の路肩から約3.5m下へ転落し、その下敷きとなった。	70101	1	1～9
1999	7	14 ～ 15	木材伐出現場において、グラップルで丸太2本を運搬するときに、丸太の端を揃えるため、丸太を地面に立てグラップルのつかみを緩めたところ、1本の丸太がグラップルより外れ、近くに居た作業者の背中等を強打した。	60201	5	1～9
1999	8	15 ～ 16	道路法面工事において、トラクターショベルで道路上の砂の排除作業を行っていたが、砂を運搬してきた10tダンプとすれ違うため、約50メートルバックさせ、道が広くなった場所で、ダンプをやり過ぎたときに、トラクターショベルごと約20メートル転落した。	30199	1	10～ 29
1999	8	14 ～ 15	1500tのトランスファープレスで自動車部品のプレス作業中に、金型にセットされる材料が2枚重なり、プレスが停止したので、これを取り除くためプレスと材料の搬送コンベアとの間に入り作業中、作業の指示を出した者が十分な安全確認をせずプレスを再起動させたため、材料を送る起動したフィードバーの端部と搬送コンベアとの間に胸部を挟まれた。	11502	7	30～ 49
1999	8	9 ～ 10	ごみ収集車で回収した古紙を降ろすためテールゲートを上げようとしたが上がらないため、同僚とともにごみ収集車の投入口より古紙を取り出していたときに、突然、回転板が動き出して、回転板とホッパーに挟まれた。	80109	7	1～9
1999	8	9 ～ 10	川に設置されている除じん機(動力を用いて草等を運び上げる機械)で、草の処理を行っていて機械のツメに巻き込まれた。	30107	7	1～9
1999	7	15 ～ 16	ごみ収集車(パッカー車)の車両点検で、荷箱とテールゲートの接合部の点検をするためテールゲートを上昇させているときに、テールゲートが急に落下し、荷箱とテールゲートとの間に頭部を挟まれた。	160101	7	1000 ～ 9999

1999	6	6 ～ 7	ダンプに残土を積むため国道を通行中、道路分岐点にある道路標識に激突した。	150103	17	10～ 29
1999	9	13 ～ 14	ワンシャーラインの(コイル状のステンレスやチタンを切断し箱詰する機械)に空木箱をセットする作業中に機械内に上半身を入れたため、上昇したリフター上の空木箱とパイラー機のサイドガイド部に腰部を挟まれた。	11001	7	300 ～
1999	10	10 ～ 11	工場内においてフローパレタイザー(加工されたダンボールをフォークリフト専用パレットの上に自動で一定の高さに積み上げ、両端を揃えて搬送する装置)の運転作業中に、積み上げたダンボールがパレットから崩れ落ちたのでそれを取り除こうと中に立ち入ったときに、下降してきた昇降枠とローラー台との間にはさまれた。	10602	7	10～ 29
1999	5	23 ～ 24	国際線出発ロビーで、乗務で駐機場に向かうため4階から3階への下りエスカレータに乗っていたところ、体のバランスを崩してエスカレータ上を横転しながら転落した。	40103	1	1000 ～ 9999
1999	12	14 ～ 15	エンジンの試運転に使用するワイヤーハーネスをパレット治具から取りはずすのを忘れたので、ラインを流れているパレット治具からワイヤーハーネスを取りはずそうとしていたときに、ラインの端と立型自動搬送装置のフレームとの間に顔面を挟まれたもの。	11301	7	300 ～ 499
2000	7	21 ～ 22	セラミック工場焼成ラインの台車と台車の間に取り付けているスペーサー(長さ約25cm、直径24mmの棒)の取り外し作業中に台車に挟まれた。	10904	7	30～ 49
2000	9	0 ～ 1	市営住宅4階の引越し作業をスカイポーター(はしご車に荷台が取り付けられているもの)を使用し行っていて荷台上から約10メートル下の地上に墜落した。	40301	1	1～9
2000	10	8 ～	解体した建築廃材の焼却場において、ホイール式グラップルで廃材を焼却炉に運搬していたときに、廃材の分別作業をしていた者をグラッ	150102	7	1～9

		9	プルの右後輪でひいた。			
2000	5	8 ～ 9	電子ワイヤー巻き取り機のボビン搬送リフターでトラブルが発生したため、ピットの中に入り修繕作業を行っていたときにボビン搬送リフターが突然落下し、搬送リフターと床との間に挟まれた。	11109	7	300 ～
2000	9	8 ～ 9	遊歩道の補修工事において、ヘリポートに陸送された工事資材(石材、砂利)を現場まで空輸してヘリポートへ帰って来たときに降下速度が速かったため、ヘリポート手前の林に衝突してバウンドしたのち、一旦約10～15mの高さに上昇したところでテールブームが折損し、その後2回程度左に旋回して墜落し炎上した。	40103	18	100 ～ 299
2000	9	8 ～ 9	遊歩道の補修工事において、ヘリポートに陸送された工事資材(石材、砂利)を現場まで空輸してヘリポートへ帰って来たときに降下速度が速かったため、ヘリポート手前の林に衝突してバウンドしたのち、一旦約10～15mの高さに上昇したところでテールブームが折損し、その後2回程度左に旋回して墜落し炎上した。	40103	18	100 ～ 299
2000	6	9 ～ 10	廃棄物を焼却工場に搬入して車両を斜面に駐車し、用事で車両をはなれていたときに車両が動き出したので、車両を制止しようとして車両と廃棄物置場との間に頭をはさまれた。	150102	7	30～ 49
2000	5	13 ～ 14	墓石の解体作業で、トラックから構内運搬車に荷物の積み込み、構内運搬車を運転するためトラックの荷台と構内運搬車の間約50cmの間に入りエンジンを掛けたところ、構内運搬車の走行クラッチが「後進」に入っていたために後進し、トラックの荷台と構内運搬車との間に挟まれた。	30209	7	1～9
2000	4	6 ～ 7	コイル数量の確認のため、圧延工場へ入ってトランスファー(コイル自動搬送装置)の稼働部に胸部を挟まれた。	11101	7	100 ～ 299
2000	3	10 ～ 11	ホテルの地下2階立体駐車場において、水漏れ点検のため移動中に後方から移動してきた台車(車輛を移動する台)とコンクリートの角との間に挟まれた。	150101	7	100 ～ 299

2000	7	16 ～ 17	路肩の草刈り作業終了後、1. 2km後方にあった標識車に戻るためパッカー車に乗り込んでバックで移動中、パッカー車後方にいた者をひいた。	30199	6	10～ 29
2000	2	8 ～ 9	鶏舎横の広場において高さ3cmのトラックの荷台からラックラクター(鶏籠を積む機械)を降ろす作業中に、ラックラクターのキャタピラの駆動回転部分に頭部を巻き込まれた。	40301	7	50～ 99
2000	11	10 ～ 11	伐倒木の搬出のため林内作業車のウインチで伐倒木を牽引したときに、伐倒木が切株等に引っ掛かったため林内作業車の転倒防止のため緊結していたナイロン製ロープが緊張して切断し、林内作業車が横転しその下敷きになった。	60201	6	1～9
2001	1	14 ～ 15	切り倒しておいた松を林内作業車を用いて搬出作業をしていたときに、林道から沢に林内作業車ごと転落し、作業車の下敷きになった。	60201	1	1～9
2001	2	8 ～ 9	自動メッキラインのメッキ槽の液量確認のためメッキ槽(高さ115cm)の横に立ち中をのぞきこんでいたところ、プログラムに従って走行してきたメッキ材料運搬用機械のマストとメッキ槽にかけ渡してあった枠との間(すき間11cm)に胸部を挟まれた。	11204	7	100 ～ 299
2001	2	10 ～ 11	作業員3人が、垂直昇降型の高所作業車に付着したモルタルを取るため作業床を高さ約2mに上げて作業していたところ、作業床が降下してきてブームと車体との間にはさまれた。	30106	7	10～ 29
2001	4	16 ～ 17	ホイール式トラクターショベルで4tトラックのけん引中にワイヤロープが切断したので交換しているときに、トラクターショベルが徐々に後退してきたため押していたが下敷きになった。	150102	7	10～ 29
2001	4	7 ～ 8	牛舎内にある配餌機(移動しながら餌を配給する自動機械)に挟まれた。	70101	7	1～9
		16	ダンボールを回収するため塵芥車を駐車場に止め、ダンボール用倉庫			

2001	4	～	へ行って鍵の開閉状況を確認していたところ、ダンボール用倉庫の方	150103	7	1～9
		17	向に動き出した塵芥車と壁との間に挟まれた。			
2001	5	～	解体工事において、解体したアルミ建材をダンプトラックに積み込も			
		0	うとしたが、荷台に載っていた重機アタッチメントのスケルトンバケット	30201	4	1～9
		1	が邪魔になる爪状のフォークグラブで掴んで荷台から降ろそうとした			
			ところ、爪からスケルトンバケットが滑り落ちダンプトラックの近くにいた者が激突された。			
2001	4	～	被災者は、杉の伐倒木(長さ4m10cm)を林内作業車で搬送するため、斜			
		13	度約22度の林道上で伐倒木に鋼製ワイヤーロープをかけ、作業車のウ	60201	2	1～9
		～	インチを使用して積み込んでいたときに、作業車が横転し下敷きに			
		14	なった。			
2001	5	～	アルミ材用皮膜ラインにおいて、自動搬送装置の昇降ユニット(縦吊り			
		16	用)を点検中、ユニットのローラーチェーンに巻き込まれた。	11203	7	300
		～				～
		17				499
2001	5	～	糞尿車で走行中、緩やかな下り坂の右カーブを曲がりきれず道路左側			
		16	の路肩から30m下の水田に転落した。	150103	17	10～
		～				29
		17				
2001	5	～	製函工場において、昼食時に交替する作業者が居ないため工場内を探			
		11	したところ、工場2階の垂直搬送機の昇降路内で頭部を負傷し倒れてい	10106	7	10～
		～	るのを発見した。			29
		12				
2001	6	～	し尿をバキュームカー(4t)で回収し汚水処理場へ向かう途中、荷台に積			
		11	んであってパイプレンチが道路上に落下したため車両を止めて回収し	150109	17	1～9
		～	ようと車から降りて道路上を歩行中、後進してきた他の作業員が運転			
		12	するバキュームカーにひかれた。			
2001	6	～	購入した丸太を引き取るため2. 35tトラック(小型移ク付)を運転して行			
		15	き、購入先の労働者が操作するグラップルで丸太をトラックに積み込	10401	4	1～9
		～	んでもらっていたところ、丸太が落下し立会者を直撃した。			
		16				

2001	6	13 ～ 14	農業試験場内の畑において、集めた小石をトラクター後部の荷台に積みバックで畑から農道に出ようとしたときに、ハンドル操作を誤って農道より1.6m下の水田に転落し下敷きになった。	120109	1	10～ 29
2001	5	10 ～ 11	収集運搬車で家庭用ごみの収集作業中に、次のごみ置場に移動するため収集車の後部あおりを倒した状態でその上に乗車していたところ、収集車が道路脇の木の切株に乗り上げた衝撃により路面に落下した。	150103	1	30～ 49
2001	7	13 ～ 14	山間の道路拡幅工事現場へ生コンを搬送するため、県道と私道との段差を利用して11tミキサー車から4tミキサー車へ生コンの積み替え作業を行い、4tミキサー車が県道へ出ようと左折したが曲がり切れずに切り返しのため後進中、私道の路肩より12m下の地面に転落し約1m下の車外に放り出された。	40302	1	10～ 29
2001	7	9 ～ 10	リフターケーブルの更新作業中、リフターが突然上昇し、リフター搬器とタンク背面部材との間に身体をはさまれた。	30301	7	1～9
2001	8	9 ～ 10	自動砂型成形機に付随した鑄造ラインにおいて、砂型を載せた台車がレールから脱輪したため、ラインを停止させ、鑄込み後の砂型からテーパーケース(砂型の周りにはめ込まれた枠)を自動で外し、そのときに外れ落ちた鑄込み口を取り除くため砂型上に身体を乗り出したところ、突然ラインが動き出し挟まれた。	11002	7	30～ 49
2001	9	13 ～ 14	収穫されたナスを選別するため建屋の1階でプラスチック製のケースに入れ荷揚げ装置により2階に上げる作業を行っていたところ、ケースがひっくりかえってナスがこぼれ落ちたので落ちたナスを拾おうと荷揚げ装置の中に入って荷揚げ装置のバーと鉄骨との間に挟まれた。	170209	7	30～ 49
2001	9	12 ～ 13	モーターカーにバラストを積載した運搬車2輛を連結しモーターカーで後押ししてバラストを敷設する作業を行っていて、鉄橋上にさしかかったところで先頭の運搬車がバランスを崩し約6m下の河川に乗っていた3名とともに墜落した。	30199	1	1～9
			モーターカーにバラストを積載した運搬車2輛を連結しモーターカーで			

2001	9	12 ～ 13	後押ししてバラストを敷設する作業を行っていて、鉄橋上にさしかかったところで先頭の運搬車がバランスを崩し約6m下の河川に乗っていた3名とともに墜落した。	30199	1	10～ 29
2001	9	9 ～ 10	垂直高速搬送機搬送された荷をフォークリフトで各階に搬入する作業中、4階に居た者が、3階に居た者に搬送機のフレームの間から声をかけたときに、5階部分から降りてきた搬送機のカウンターウエイトとフレームとの間に挟まれた。	80401	7	10～ 29
2001	10	17 ～ 18	工場のダンボール搬送機械にセットしたダンボールの相性を監視するため出張作業中、搬送機械から落ちかけたダンボールがあったので機械が動いている状況のままこれを直そうとして安全柵の間隙(29cm×19cm)から頭を入れたところ、動いている機械と安全柵との間に頭部を挟まれた。	10602	7	100 ～ 299
2001	10	9 ～ 10	墓地内に墓石を運搬する作業で、ハンドガイド式不整地運搬車(クローラー式)に重さ約250kgの墓石を積み、高さ2.36mの石段に敷設した鋼製の道板で登坂させているときに、石段頂上部に差しかったところで滑動した機械とともに石段下まで転落した。	10909	1	1～9
2001	10	13 ～ 14	共同住宅新築工事において、場内道路の敷鉄板を溶接作業中にコンクリート打設工事のため後進してきた生コン車にひかれた。	30201	7	10～ 29
2001	12	9 ～ 10	立体駐車場の建築現場で防護ネットを取り外す作業を行っていたところ、別作業で稼働中であった車運搬用搬送機のカウンターウエイトと立体駐車場の鉄骨との間にはさまれた。	30201	7	10～ 29
2001	7	0 ～ 1	墓石の設置を行うため3つの墓石(総質量280kg)を手押しクローラ運搬車に載せて傾斜角度27度の坂道を運搬していたところ、運搬車がやや左寄りに走行していたので体勢をたて直すため一旦運搬車を停車させ、再度走行させようとしたときに運搬車が突然後退したため運搬車に挟まれた。	10909	7	30～ 49

2001	12	10 ～ 11	包装紙等を製造・加工する工場において、地下1階資材倉庫から地上1階加工場までロール紙等の資材を搬送する自動搬送機のうち垂直搬送機部分の昇降路内で清掃作業を行っていたときに、搬器が降下してきて挟まれた。	10602	7	50～ 99
2002	2	13 ～ 14	道路舗装工事の現場内で誘導員がロードスイーパー（道路清掃車）の後進運転を誘導したが、その必要なくなったと判断して誘導員が所定の誘導位置に戻ったときに、ロードスイーパーが仮区画線引きの作業をしていた者を轢いた。	30106	6	10～ 29
2002	2	9 ～ 10	ゴミ収集車で路上においてある家庭ゴミの収集作業中、車両後方の踏台に立ち乗りして次の収集箇所に向っていたときに、踏み台から転落して後頭部をアスファルト路面に打ちつけた。	150103	1	10～ 29
2002	4	15 ～ 16	立体駐車場（地下、車2台を上下に収納する構造）の点検作業中に、駆動チェーンのピンの1つが外れているのを発見したので車2台を収納した状態の搬器を最上方に揚げ隣の搬器を下げて、その床上でハンマー等を用いて駆動チェーンの応急措置を行っていたところ、チェーンが切れて搬器が落下し搬器とピットとの間に挟まれた。	170209	7	1～9
2002	4	15 ～ 16	工場建屋内で、重機（フォークグラブ）で軽量コンクリート板を粉砕機に投入する前処理のため、フォークグラブのフォークで粉砕やキャタピラーで踏みつけ粗粉砕しているときに、近くで発じん防止のため散水していた者がフォークグラブのカウンターウエイトとコンクリート壁との間に挟まれた。	150102	6	1～9
2002	4	16 ～ 17	表面加工を行う部品をバケットに入れ溶液槽に自動搬送（移動、沈浸）していくラインの内部点検のため、液を抜いた槽の内部に入ったがラインが止まっていなかったためにキャリアーに当たって隣の槽まで身体を引きずられ、隣の槽内のバケット上部の取手部分（バレル）との間に挟まれた。	11209	7	10～ 29
		14	サーマルリサイクル施設の感染性廃棄物貯留場内で、感染性廃棄物供給装置の運転を指示されて1人で4階の中央操作室を出て1階の操作盤に			

2002	5	～	15	行き起動させたが約10秒後に異常が発生し、その後2～3分経過してもリセットされないので、同僚が確認に行ったところ1階NO2感染性廃棄物コンベア横で倒れていた。	150102	7	30～ 49
2002	5	～	14 15	林道及び斜面に大量に落下した枝の取り除き作業において、地山を切り取って作業箇所を確保しグラップルにより斜面の枝を取り除いていたときに、作業箇所が崩壊しグラップルとともに約26.5m下の河原に転落した。	30106	1	10～ 29
2002	7	～	17 18	ビニールハウス内でたい肥散布機に乗ってたい肥の散布作業中、ビニールハウスの鉄製梁（高さ約1.4m）と散布機の背もたれとの間に頭部を挟まれた。	170209	7	10～ 29
2002	9	～	10 11	前年に伐採した傾斜地にトド松の苗を植えるため、重機で（油圧ショベル先端にグラップルアタッチメント取付）伐倒木の残材、枝の整理作業を行っていたときに重機が転倒し下敷きになった。	60201	2	10～ 29
2002	9	～	10 11	きのこの入っているコンテナを生育室にローラコンベアで運びコンテナを出し入れする移載装置（通称棚ロボット）にトラブルが生じたため、その確認作業をしていたときに何らかの理由で同装置のスライドテーブルが下降してきて頭部に激突された。	10109	6	100 ～ 299
2002	10	～	11 12	飲料缶等の製造ラインを停止した月初めのメンテナンス作業で、テーブル面で作業を行うため上昇中のリフター（113cmを約25秒で上昇）に乗ろうとしてアングルに胸部を挟まれた。	11203	7	300 ～ 499
2002	8	～	8 9	伐根等のゴミ焼却施設敷地内において、ドラグ・ショベルで金属等の選別作業を行っているときに、集積していた雑木等ゴミの斜面からショベルごと転落して運転席から投げ出され下敷きになった。	60201	1	1～9
2002	12	～	10 11	墓石の設置作業で、約80kgの墓石を小型運搬車（車幅60cm、積荷重250kg）に載せて幅約110cm、傾斜14度から20度の上り勾配の通路を上っていたときに、通路から8.3m下の道路に小型運搬車とともに墜落した。	10909	1	10～ 29

2002	12	13 ～ 14	ゴルフコース内の松を伐木し玉切りした丸太をトラック荷台に積み込む作業中、ショベルローダーのバケットに載せた丸太（直径50cm、長さ1m90cm）を荷台上へ降ろしたとき丸太の積込を行っていた者の方向に転げ落ちたため、丸太とともにトラックの荷台から約1m下の地面に転落した。	140301	1	30～ 49
2003	2	11 ～ 12	ショベルローダーで回収された段ボールをコンベヤに投入する作業中に、エンジンを切らずギアをバックに入れた状態でショベルローダー運転席から降りて、約9m離れた建屋の柱付近にいたときに、後進してきたショベルローダーと柱との間にはさまれた。	80109	7	1～9
2003	2	8 ～ 9	私有林の伐採作業現場において、伐倒木（種類：杉、胸高直径25cm）に付着した雪が玉切するのに支障となるため、グラップル（林内作業車）で伐倒木の先端付近（直径：13cm）をつかみ持ち上げ雪を落とそうとしたときに、グラップルでつかんだ個所から折れた伐倒木の元口側（長さ：7.9m）が落下し激突された。	60201	4	1～9
2003	3	18 ～ 19	荷物引き取りのため、プラットホームにトラックを止めて荷台へ積み込み作業を行っていたときに、ホームに設置されているリフト（昇降機・揚程1m）の下に荷物が落下したので拾うためリフトの下に入ったときに、下降してきた搬器に頭部をはさまれた。	40301	7	30～ 49
2003	3	9 ～ 10	高さ1.2mのプラットホームから空ダンボールをごみ収集車のホッパーに投入していて、ごみ収集車のテールゲートから誤ってホッパー内に転落し、回転板に巻込まれた。	80109	7	10～ 29
2003	3	13 ～ 14	飲料水製造ラインのリフター（パレットに乗せたペットボトルを上昇させる装置）の高さの調整作業中に、リミットスイッチとの隙間を確認しようとしてリフター内に上半身を乗り出していたときに、動き出したリフターに頭部をはさまれた。	10106	7	10～ 29
2003	3	14 ～	工事現場において、同僚とともに法面（のりめん）の養生をするため農業用運搬機に土のうを積載し、法面（のりめん）上部に運搬しようとしたときに、農業用運搬機が下方向にずり落ちてきて同僚が運搬機	30106	7	10～ 29

		15	にひかれた。			
2003	4	11 ～ 12	道路拡張に伴う電柱の新設・撤去工事において、既設電柱から取り外された電線を巻取り機で回収していたところ、電線が巻取り機の回転シャフトに絡み付いたままであったため、緩んだ電線に右足が絡んで巻取機に巻きこまれて宙に浮くような状態となり、頭部を地面に叩き付けられた。	30301	7	10～ 29
2003	4	10 ～ 11	工場棟内で、皮膜槽の清掃および再塗装作業のため皮膜槽の側面に設けてある作業構台の端と皮膜ライン1号台車の移動レールの上に立ち入ったときに、皮膜ラインの試験運転のため自動運転していた台車と作業構台との間に身体をはさまれた。	11209	7	300 ～ 499
2003	5	16 ～ 17	トラクターで畑の耕起作業を行っていた者から同僚の携帯電話にうめき声で電話があったので現場に駆けつけたところ、トラクターの後部に取り付けられている耕起用アタッチメント（機体質量約250kg）の下敷きになっていた。	60101	7	30～ 49
2003	6	8 ～ 9	間伐作業現場から伐倒した木材（長さ3～4m、平均直径17cm、70本）を林内運搬車（クローラ式）で運搬していたときに、林道左側の下り斜面で横転し、運転者が林内運搬車の荷台から崩れてきた木材の下敷きとなった。	60201	1	30～ 49
2003	6	12 ～ 13	自動搬出装置で、搬出ステーションより空パレットを搬送していたところ、子台車が停止したため、本来の異常発生時の手順ではなく、別機械でパレットの設定状況を確認するリミットスイッチにハンマーを置いた擬似的条件を設定して、子台車を自動搬送機（親台車）まで移動させたのち疑似設定条件を解除するためライン内を移動しているときに、転んでレール溝の間に落ち自動で動いてきた搬送機に激突された。	11301	6	1000 ～ 9999
		16	工場の脱型場において、以前から補修が必要であった脱型台車の駆動用電動機を取替えのため、隣に設置してある緩め機用台車の軌道内			50～

2003	7	7	～	(深さ40cm)で作業を行っていたときに、台車が定位置に戻っていな	10901	7		99
		17		いことを発見したクレーン運転士が操作盤を操作して台車を走行させ				
				たため台車にひかれた。				
2003	7	13	～	林内作業車で長さ3～4mに玉切りした材木を土場まで運搬していると	60201	1		1～9
		14		きに、土場で林内作業車が約1m転落して横倒しとなったため、投げ出				
				されて頭部を打った。				
2003	8	10	～	伐倒した立木を林内作業車で運搬するため集材道上でチェーンソーで	60201	1		10～
		11		枝を払って、切り払った枝が作業の支障となるため林内作業車で				29
				枝を沢側に押し出していたときに、集材道から約5m下の沢に車とともに				
				転落して運転席から投げ出され、ヘッドガード部分の下敷きになっ				
				た。				
2003	8	19	～	切断したアルミを載せるスペーサの供給装置(上下左右に移動し、一	11209	7		300
		20		次コンベヤに乗せる装置)で、一次コンベヤに乗せられていたスペー				～
				サが二次コンベヤに至る前で停止したので、自動運転の状態で供給装				
				置内に入りスペーサの位置を修正していたところ、スペーサの有無を				
				感知する近接スイッチ等が作動したため、供給装置が下降し一次コン				
				ベヤとの間にはさまれた。				
2003	9	2	～	浴室部材を成形している2500tプレス工程において、離型剤を塗布して	10805	7		100
		3		バリ取りをしているときに材料投入機が作動し、成形機金型上の製品				～
				のところに降りていた離型移載機と材料投入機との間にはさまれた。				299
2003	9	9	～	枯木の伐木・撤去作業で、切った丸太2本(長さ73.5cm、直径	60101	7		1～9
		10		19.5cm、長さ85cm、直径21.5cm)をゴミ収集車後部の投入口に投入				
				したところ、丸太が詰まったのでテールゲートを開けてテールゲート				
				と荷箱の間に立ってチェーンソーで丸太を切断しようとしたときに、				
				テールゲートが閉まり腰部をはさまれた。				
2003	9	16	～	U字溝等のコンクリート製品の製造ラインにおいて、型枠を乗せたトラ	10909	7		1～9
				バーサの方向を90度変えるための自動搬送装置の型枠の側面が開いた				
				のを直そうとしたときに、搬送装置の固定フレームと移動するフレー				

		17	ムとの間にはさまれた。			
2003	10	6 ～ 7	陽極酸化複合皮膜ラインにおいて、当日予定の循環流量計設置工事個所の確認および下準備を行っていたときに、自動運転になっていた搬送台車と槽の側面についている遅降装置との間に頭をはさまれた。	11109	7	100 ～ 299
2003	10	17 ～ 18	空港において、航空機の貨物室にハイリフトローダーと呼ばれるワンマンコントロールのコンテナ運搬車で荷を積み込んでいるときに、コンテナとコンテナとの間にはさまれた。	40103	7	100 ～ 299
2003	12	14 ～ 15	マンション5階の住民の引越し作業で、引越リフト車を使用して5階外部廊下から引越し荷物の電子レンジを搬器の上で両手で受け取ったときに、バランスを崩して搬器から約12m下の地面に墜落した。	40301	1	1～9
2003	12	6 ～ 7	ごみ収集車でスーパーマーケットにごみの収集に向かう途中、路面が凍結していたためスリップし、道路脇の消火栓およびコンクリート製の防犯灯に衝突した。	150103	17	1～9
2004	2	9 ～ 10	リフトの滑車塔に登り除雪作業を行っていたところ、滑車に巻き込まれた。	170209	7	100 ～ 299
2004	10	14 ～ 15	馬鈴薯の収穫に使用している農業用機械（ハーベスター）の清掃を行うため、高圧洗浄機を用いて作業していたところ、トラクターとハーベスターを連結しているプロペラシャフトに巻き込まれた。	60101	7	1～9
2004	8	0 ～ 1	伐採現場である山林において、作業車を運転中、路肩より左側にある約20m下の沢に転落した。	60201	1	1～9
2004	8	8 ～ 9	林野において、パルプ材に使用する木材の木出しと材の運搬作業で被災者が木材を積載した農用運搬機（クローラ式）を運転していたところ、林道の端から農用運搬機ごと約3m下の地面に転落した。	60201	1	1～9
2004	5	15	鋼板のコイルを移動する台車のセンサーを点検する作業中に、鋼板の巻取り装置が動き出し、当該巻取り装置とコイルを置く架台の部分に	11409	7	50～

		16	挟まれた。			99
2004	12	16 ～ 17	鉄くず等廃材の集積作業場において、ショベルカーのアームの先端にハサミ状のアタッチメントをつけたニブラを使い、廃材の山を整理している途中、運転者が車体を旋回させたところ、アームの先端が高さ3mの冷温水器のユニットの上に置いていた廃タイヤに接触、タイヤが落下し、近くにいた被災者に激突した。	80109	4	1～9
2004	7	8 ～ 9	自動倉庫のラックを解体する作業で、高さ約10mの位置にあったラック部材2カ所を足場にして、高さ約11mの位置にあったラック部材1本をガス溶断して取り外していた際、バランスを崩して、地上に墜落した。	30302	1	10～ 29
2004	7	13 ～ 14	集水井の掘削で発生した土を林道まで運搬するため、延長約130mのモノレールを設置し、土の運搬作業を行っていたところ、スイッチバック個所の手前で荷台が傾き、積載していた土の入った鉄製容器3個（1個が約60kg）が落下、被災者がこの下敷きとなった。	30108	4	30～ 49
2004	11	9 ～ 10	霊園内において、土砂運搬を行うため、石材運搬車を操作していたところ、運転操作を誤り、石材運搬車が後退してきて、石材運搬車と被災者の背後に駐車していた2tトラックとの間に挟まれた。	10909	6	1～9
2004	1	9 ～ 10	引越作業で大型冷蔵庫を搬出するため、2階の窓からスカイポーターのキャリア（あおりを倒し、フラットにした状態）に乗せようと、大型冷蔵庫を4人の作業者が2階から押し、被災者ともう1人の作業者がキャリアの上で引っ張り、大型冷蔵庫をキャリアに乗せる作業をしていたとき、被災者がキャリアから墜落した。	40301	1	30～ 49
2004	6	16 ～ 17	林道から治山工事現場付近まで敷設した単軌条運搬機の点検作業を3名で実施し、点検作業が終了して3名で当該運搬機に乗り、回収したレールを積んで林道に戻る途中、46度の斜面を上っていたところ、運搬機がレール上約17m滑落、立木に激突し1名が死亡した。	30108	3	10～ 29
			お寺の墓地内で墓石を設置する作業において、墓地の斜面にアルミ製			

2004	7	11 ～ 12	の道板（登坂用具）を敷いて、クローラ型の運搬車に重さ約300kgの墓石を積んで運転者が後ろ向きで進行中（斜度約26.5度）、突然、運搬車の運転操作側のクローラが浮き上がりそのまま後ろ向きに転倒し、運搬車の脇にいた被災者に激突した。	30199	6	1～9
2004	3	2 ～ 3	たばこのフィルター自動供給システムにおいて、自動搬送装置のローラーコンベヤ上で5段積み段ボール箱が所定位置からずれて停止したため、昇降機（搬送装置の一部）の昇降路開口部に体を入れ上記ダンボール箱を押し込んだところ、昇降機の搬器が上昇し、搬器と昇降路横枠の間に挟まれた。	11704	7	100 ～ 299
2004	4	23 ～ 24	プレス機械に接続された部品供給用のエレベーターの昇降路内において残部品の確認作業を行っていたが、下降してきたエレベーターの搬器に気付かず、搬器と部品供給棚（プレス機械に供給する部品をストックしておく設備）との間に挟まれた。	11301	7	300 ～
2004	4	14 ～ 15	鶏糞肥料（15kg袋入り）を運搬するベルトコンベアのベルトに緩みが発生したため、針金で応急処置作業中、パレタイザーのアームに挟まれた。	70101	7	10～ 29
2004	8	6 ～ 7	構内運搬車を運転し、市場内のエレベーターに乗ろうとしたとき、運転を誤り、構内運搬車がエレベーターの扉に当たり、扉を押し開けたため、構内運搬車から振り落とされ、エレベーターのピット内に墜落した。	80109	1	1～9
2004	11	16 ～ 17	アスファルトの合材サイロに設置された製品供給用の搬送装置が停止したため再起動させようと、高さ約16mの位置で機械の状態の確認作業を行っていたところ、当該搬送装置が突然動きだしたため、バランスを崩し作業床から足を滑らせ墜落した。	11209	1	1～9
2004	7	10 ～ 11	マンションの4階から引越の荷物を搬出するため、荷の上げ下ろしに使用する引越リフト車の搬器を、あおりを倒した状態で4階通路外側まで上昇させ、荷を搬器に積み込む作業を行っていた際に、同搬器のあおりに乗って作業をしていた被災者が、搬器のあおりから墜落した。	40301	1	10～ 29

2004	12	23 ～ 24	エンジン・リヤサスペンション組立ラインにある自動垂直搬送機の故障を点検するため、昇降路にある安全柵を外し、そこから昇降路内に立ち入って作業を行っていたところ、搬送機が急に下降し始め、搬送機の上部フレームと安全柵を外した開口部分の下部に挟まれた。	11502	7	1000 ～ 9999
2004	5	11 ～ 12	瓦のふき替え工事現場において、屋根土運搬作業に従事していた被災者が、屋根土を運搬するために運搬車を運転して私道を下っていたところ、運転操作を誤り、私道の端から下方約4.5mの地点に当該運搬車ごと転落した。	30202	1	10～ 29
2004	11	11 ～ 12	伐採終了後の現場において、木材をトラックに積み込む作業のために一人でドラグ・ショベルを運転して、木材の整理等の作業を行っていた被災者は、積み込み個所の林道路肩より沢に転落、運転席より投げ出され、機械の下敷きとなった。	80109	1	1～9
2004	2	8 ～ 9	作業開始点検後、ハーベスタを作業場まで移動する際に、ハーベスタ後部の原料袋を下げる荷台アームと本体に挟まれた。	60101	7	30～ 49
2005	3	14 ～ 15	クリーニング工場内で自動洗濯工程の一部である脱水機の異常を知らせるブザーが鳴ったため、被災者は洗濯物を取りだそうと垂直搬送機の中に入ったところ、突然動き出した垂直搬送機とフェンスとの間に挟まれた。	11703	7	50～ 99
2005	9	10 ～ 11	収集したごみをごみ収集車からごみ処分場内に下ろす作業を行っていたところ、同車のテールゲートが激突した。	150103	7	10～ 29
2005	1	14 ～ 15	玉切材集積場所付近でチェーンソーの燃料を入れていたところ、後退してきたグラップルのクローラ部分でひかれた。	60201	7	10～ 29
2005	8	15	ポプラの伐採後の枝等の片付け作業中、ポプラの木を玉切りしやすい場所に移動しようとして、グラップルで挟み、右旋回させたところ、	30202	6	10～ 29

		16	当該ポプラの木が、被災者に激突した。			
2005	8	10 ～ 11	登山歩道整備工事において、資材（重さ500kg）をモッコに入れ、ヘリコプターでつって運搬する作業中、登山道上で連絡・監視業務をしていた被災者につっていた資材が激突した。	30106	6	30～ 49
2005	1	1 ～ 2	製品を研磨する自動エアージェットブラスト装置における製品自動搬送装置の台車と台車との間に挟まれた。	11502	7	300 ～
2005	8	10 ～ 11	搬送装置により運ばれてきた部材と加工室の天井との間に挟まれた。	11509	7	100 ～ 299
2005	5	15 ～ 16	ロールアーム上部組立工程作業において、中折防止スプリングを取り付けようと他の作業者がアーム下部に上ったところ、アームが曲がって降下し、被災者が挟まれた。	11502	7	10～ 29
2005	9	9 ～ 10	ゴミ収集車のゴミを押し込むカッターローラーを回転させながら水洗いをしていたところ、カッターローラーに挟まれた。	150109	7	10～ 29
2005	3	0 ～ 1	パッカー車により家庭ごみの収集作業を行っていたところ、パッカー車のボディ内部に巻き込まれた。	150103	7	1～9
2005	12	23 ～ 24	放熱板に粉状のフラックスを塗布する機械を操作中、可動式ローラーコンベヤーの基部に挟まれた。	11502	7	100 ～ 299
2005	10	15 ～ 16	ゴミ処理施設において、ごみ収集車のテールゲートを開けゴミをピットに投入する作業で、ゴミの投入補助をしていた被災者が収集車のテールゲートに挟まれた。	150102	7	10～ 29
2005	7	9 ～	2人で機械式ごみ収集車によりペットボトルの回収作業を行っていたところ、機械に巻き込まれた。	150109	7	50～ 99

		10			
2005	6	17 ～ 18	工場内のドラグ・ショベル組立ラインにおいて、自動搬送装置につられた次作業予定の下部旋回体が、一時待機していた状態から突然動き出し、組立作業をしていた被災者が激突した。	11301	6 300 ～
2005	2	9 ～ 10	林内作業車を使用して丸太70本を運搬していたところ、幅1.7mの作業道の曲り角付近で林内作業車とともに2.5m下へ転落した。	60209	1 10～ 29
2005	5	10 ～ 11	積載荷重0.5トンのクローラ式運搬車に石材1トンを積み込み坂道を後退中、運搬機の制御が利かなくなり、運搬車と坂道脇の擁壁との間に挟まれた。	30199	7 1～9
2005	6	8 ～ 9	クローラ式不整地運搬車を勾配が14度の坂道で停止したところ突然、動き出し、付近にいた被災者がが激突した。	30108	7 1～9
2005	12	14 ～ 15	メッキラインに部品を投入するため、運搬装置に被メッキ物を入れ、メッキラインのホッパーに専用の運搬装置のバケットから材料を投入しようとしたところ、運搬装置のバケットとメッキラインのホッパーとの間に挟まれた。	11209	7 50～ 99
2005	4	13 ～ 14	斜度が24度の民有林において、杉丸太を林内作業車に積み込むため、ウインチワイヤロープで杉丸太を引き寄せていたところ、林内作業車が横転し、緊張したウインチワイヤロープと地面との間に挟まれた。	60201	2 10～ 29
2006	2	5 ～ 6	工場の「250tロボットプレスライン」において、プレスで加工された半製品が流れて来ず、不審に思った作業員が、設備を点検していたとき、シートフィーダ（プレスへ材料を供給する自動搬送システム）内で上半身が挟まれている被災者を発見した。	11502	7 100 ～ 299
2006	1	15 ～	機械集材装置の支柱上端付近に控え索を取り付ける作業において、ドラグ・ショベルに集材用アタッチメントとしてグラップルを取り付けた機械の先端に被災者を乗せ、ブームとアームを起こしながら7.7	60201	1 10～

		16	5メートルの高さに上げた。被災者は支柱にワイヤを回しシャックルで固定したところで、グラップルの上に立った状態で完了の合図として手を振った時、被災者が墜落した。			29
2006	3	14 ～ 15	自動車運搬船からトレーラーのシャーシ部をおろす作業中、被災者が船の床にベルト・架台で固定されているシャーシを解除する作業をしていたとき、トレーラーヘッドの運転手がヘッドをバックさせたため、被災者がはさまれた。	50202	7	10～ 29
2006	3	17 ～ 18	錫メッキ工場C A L（キャル）炉の重点工事（定期修理）において、2名でC A L炉に付着したスケール等の除去をボトムカバー台車に上がって行き、作業が終了したので、他の1名が別の場所へ移動した後、被災者がボトムカバー台車を移動させようとしたところ、ボトムカバー台車とC A L炉の支柱にはさまれた。	11001	7	1000 ～ 9999
2006	3	17 ～ 18	リサイクルセンターへ産廃を運び込む作業中、脱着ボディーシステム車のエンジン動力伝達部分に土のうが絡まっていたため、車体に乗って土のうの袋を取り除こうとしたところ、あげていたコンテナの荷台が落下し、荷台と車体の間に挟まれた。	150102	7	1～9
2006	4	16 ～ 17	収集したダンボールを機械式ごみ収集車から排出する作業を運転手と被災者で行なっていたとき、被災者が機械式ごみ収集車の荷台内に残ったダンボールをかきだそうとして機械式ごみ収集車の荷台とテールゲートの間に入ったことに運転手が気付かず、機械式ごみ収集車のテールゲートを閉めてしまい、被災した。	150103	7	30～ 49
2006	2	10 ～ 11	地下鉄駅の券売機の入替のため、古い券売機（重量約400k）を昇降器（ゴム製キャタピラ付の運搬器）を使用して作業員2名で外に運び出すため、階段箇所を通っている時、踊場付近で後方に昇降器ごと転倒し、階段下にいた警備員が下敷きとなり死亡、作業員2名も負傷した。	170201	6	30～ 49
2006	5	10	被災者は敷地内にある車庫内から構内運搬車（立った姿勢で運転）を前進させた際、車庫出入口（高さ1.8M）にぶつかり、構内運搬車	11209	7	10～

		11	荷台のガードと車庫のシャッターボックスとの間に挟まれた。			29
2006	5	6 ～ 7	被災者が石炭積込機械である揚重機の運転を開始した直後、揚重機のカウンターウエイトが落下したことから、ビームが運転席を直撃し、被災した。	11001	5	50～ 99
2006	6	8 ～ 9	被災者は、町道脇でゴムクローラーキャリアダンプ（4 t 車）の荷台部分とクローラーの間に正座するような格好で前のめりになって挟まれているのを、木材を積み込みに来た運送業者に発見された。被災場所は山林内から切り出した木材を同ダンプで運搬してきて一旦仮置する場所であり、同ダンプの荷台の上げ下げの調子が悪いことから、被災者は一人で修理を行っていた。	60201	7	1～9
2006	7	3 ～ 4	担当職場で保全作業が終了し、通常操業に入るため、保全作業に着用していた作業服から通常の作業服に着替え、保全作業用服を返却するために、構内道路の信号付き交差点の横断歩道を横断中、同信号で左折してきた重量貨物運搬車輛の前方右側フレームに激突された。	11001	6	300 ～
2006	7	16 ～ 17	えん堤工事用の資材道開設において、伐採した木の片付け作業中、木の搬出を行うため、既に3本の木を積載した林内作業車を斜約10度の資材道から、搬出しようとした木に接近させたところ、林内作業車が横転し、運転していた被災者が地面と林内作業車の間にはさまれた。	30199	2	1～9
2006	8	16 ～ 17	農業機械を運転して、行方不明となっていた放牧中の牛一匹を捜していたところ、段差のある傾斜地で車両が横転し、振り落とされた被災者がその下敷きとなった。	70101	1	1～9
2006	10	15 ～ 16	スーパーにおいて、ダンボールの収集作業中、ダンボールを収集車に積み込んでいたところ収集車の圧縮板にはさまれた。	80109	7	1～9
2006	11	15 ～	被災者は、林内作業車（グラップル付きのクローラー式林内作業車）に木材を積載して、約1 km先の積卸し場所に向かう途中、木材運搬	60201	1	10～

		16	用道路から、約1 m下に転落し、運転席後部に取り付けられた背もたれ用のフレームと地面に露出した立木の根の間に挟まれた。			29
2006	12	14 ～ 15	高速自動車道の中央分離帯の樹木剪定作業等が上り線・下り線の追越車線を工事規制して行われた。被災者が上り線の追越車線において、当該作業後に飛散した枯葉等をブローワーにより中央分離帯側へ寄せる作業をしていたとき、剪定した枝葉等を回収し搬出するため上り線追越車線を後進してきたパッカー車に轢かれた。	30201	7	1～9
2007	1	11 ～ 12	えん堤袖かくしの石積み天端部の盛土を行うため、土砂を入れた生コンバケットをケーブルクレーンでつり上げ、横引き用ウインチで、えん堤右岸側に約2.2 m、高さ2.3 mの天端部まで引っ張り、バケットの排出口を開けて土砂を排出しようとしたところ、ウインチのワイヤロープの継ぎ目が外れ、バケットがえん堤中央部方向に戻されたため、バケットを手で押さえていた被災者が押し出され、高さ9.8 m下の氷の上に墜落した。	30108	6	10～ 29
2007	2	9 ～ 10	被災者はポリタンクで麓から水を汲みに行くために、一人で単軌条運搬機に乗り移動し始めた。その後、同僚が単軌条運搬機のエンジン部分と軌条の架台にはさまれている被災者を発見した。	30199	7	1～9
2007	11	7 ～ 8	空港建設現場において、朝の始業点検で掘削エリアで使用するドラグ・ショベルのエンジンオイルが不足していたため、現場管理者である被災者が、ピックアップ車でオイルを取りに行く途中、掘削エリアに向かって移動していた90 t級ダンプに、車両ごとひかれた。ダンプ運転手は、被災者車両に気付かないまま乗り上げた。	30199	7	30～ 49
2007	2	11 ～ 12	アルミホイール工場内鑄造部門において、溶解炉を担当していた作業者が、停止しているスクラップホイール搬入用リターンバケットのホッパー底部開閉扉にはさまれているところを発見された。	11109	7	10～ 29
		16	平均勾配40度の斜面の杉立木（胸高直径54 cm、高さ15.8 m、偏心はない）を伐倒する作業で、同僚がチェーンソーで伐根に受け口・追い口をつくった後、被災者が斜面上方の農道に設置したグ			

2007	2	17	～	ラップル（機体重量3.66t）のアーム先端部側面で、杉を横から押し倒したところ、杉の枝の根元が、アーム先端部に絡まり、斜面に対して横方向に倒した杉にグラップルが引っ張られ、斜面を約7m転落した。	60201	1	1～9	
2007	11	9	～	10	木材伐出作業現場において、林内作業車（車両重量3.27t）に杉玉切り材（長さ3m、約50本）を積載し、沢沿いに上下方向に仮設された作業道（伐採箇所・土場間約300m）を下っていたところ、伐採箇所から約200m下がった作業道（平均勾配20度、幅約2.5m）において、路肩から沢へ転落し、林内作業車の下敷きとなり死亡した。	60201	1	1～9
2007	9	9	～	10	治山工事現場の高低差約80mの法斜面に張り渡した9mmφのワイヤロープ（上部は立ち木と支柱で固定、下部はタイヤショベルに固定）でコンクリート板（110kg）を運搬中、支柱に取り付けていた支持滑車の台付ロープが切断したため、張り渡していたワイヤロープが落下し、支柱の下で合図を行っていた被災者を直撃した。	30108	4	10～ 29
2008	4	14	～	15	被災者は同僚1名と共に、タンク車で回収した汚泥を産業廃棄物処理場で排出した後、タンク内の洗浄作業を行った。洗浄作業終了後、被災者の合図で同僚がタンクを降下させハッチを閉じたが、被災者の姿が見えないことに気づきハッチを確認したところ、被災者がタンクとハッチの間にはさまれていた。	150102	7	1～9
2008	4	10	～	11	同僚作業者と3名により間伐作業を行っていた。被災作業者は、運搬車を使用して玉切りしたホダ木の運搬作業中、運搬車と立木との間にはさまれた。	60201	7	10～ 29
2008	4	14	～	15	農業用トラクターを運転して畑を耕す場所へ移動していたところ、トラクターから投げ出されてトラクターにひかれた。	60101	1	1～9
2008	8	8	～		僅かな勾配となっていたゴミ収集場所で作業していたところゴミ収集車が下がりはじめた。被災者が手で車両を押さえようとしたが転倒し	150103	7	10～

		9	て車両下に入り、ひかれた。			29
2008	3	11 ～ 12	ぶどう畑にある消火用ホースを地中に埋設する作業において、被災者は、地中から出てきた石を不整地運搬車で運び、石捨て場に捨てる際、未舗装の農道から石捨て場の1.7m下の農道に転落して不整地運搬車の下敷きになった。	10105	1	30～ 49
2008	3	8 ～ 9	被災作業者はグラップルを操作して切り倒された材木を仮置き場所に移動させる作業を行っていた。作業場所に差し渡し約1mの石があったため、これをグラップルの爪にはさんで取り除こうとして、当該石を爪にはさみ谷側にアームを振ったところ、グラップルごと谷側に約34m墜落して死亡した。	60201	1	1～9
2008	3	13 ～ 14	被災者が荷台に作業員1名と肥料3袋を載せた農場内運搬機を運転して、園内の農道（幅員3.5m、下り勾配約3度）を走行している時、急旋回したため路肩から斜度約45度の法面約6.0m（高さ約4.0m）を転落し、運搬機の下敷きになって死亡した。	140309	1	10～ 29
2008	5	11 ～ 12	トラックスケール場において、被災者がスクラップを積載してきた2tトラックの荷台のシートの取外し作業を行っていた時、屋内から屋外へ後進してきたドラグ・ショベルのクローラでひかれて死亡した。	80109	7	1～9
2008	3	9 ～ 10	運転手1名と作業員2名で、道路上に点在する集積場のごみをごみ収集車で収集する作業の際、移動のために低速で前進するごみ収集車後部の投入口の荷台部に被災者が乗っていたところ、足が滑ったため回転板に巻き込まれ死亡した。	150103	7	50～ 99
2008	10	7 ～ 8	グラップル（機体総重量13.4t）を仮置きしていた民有地で、貨物トラック（最大積載量8.5t）を作業路に設置してグラップルを運転操作して貨物トラックに積み込む作業を行っていた。グラップルがトラックの荷台上で滑ったため側方から転落してグラップルの下敷きになり死亡した。	60201	1	1～9
			法面復旧工事において、下流側土場で上流側谷止工のふとん籠に使用			

2009	1	11 ～ 12	<p>する再生骨材を小袋（約25kg）に入れ、上流側に運搬するため小袋を鉄箱に8個積み、この鉄箱3箱（総重量632.5kg）を連結し単管で製作したガイド上を電動ホイストを使用して運搬中、ホイストのワイヤロープに取付けられた滑車を固定している番線が切断し、その反動で傍らで運搬の合図を行っていた被災者に滑車が飛来した。</p>	30108	4	10～ 29
2009	10	12 ～ 13	<p>漁港内の荷捌施設において、漁船（9.84t）を修理するため、タイヤ式揚船機（台車）を船底に入れ、海からスロープを利用してウインチで引き揚げ、「横取り」と呼ばれる手法でウインチと滑車を使い、少しづつ台車のタイヤ方向を変え、所定の位置へ牽引していたところ、「横取り」に使用していたワイヤロープ（φ14）が薩摩編み部分から切断し、近くにいた被災者の足元へはね返り、はね飛ばされた。</p>	70201	6	10～ 29
2009	11	13 ～ 14	<p>被災当日、農業用トラクターの後部に収穫用コンテナを乗せるための荷台を連結し、収穫した長いものを荷台上のコンテナに入れる作業を行っていた。当該コンテナに長いものを入れる作業は農業用トラクターを前進させながら作業を行っており、被災者は前進していた荷台後部左側の車輪に巻き込まれた。</p>	60101	7	1～9
2009	9	15 ～ 16	<p>生コン供給トロッコに取り付けられているバケットから、その下方にある投入バケットに生コンを自動投入する作業において、当該投入バケットの縁に足を掛け、その上方にある生コン供給トロッコのバケットに付着している生コンをスコップでかき出していたところ、所定の位置に戻ろうと回転した当該供給トロッコのバケットにはさまれた。</p>	10909	7	30～ 49
2009	5	15 ～ 16	<p>伐倒木の集材作業中、傾斜地約40m下にある伐倒木4本にワイヤロープを掛け、作業道よりホイール式林内作業車で斜めに約30m引っ張ったところで前進した際、運転操作を誤り林内作業車とともに約40m下に転落した。</p>	60201	1	50～ 99
		9	<p>二人の作業者が、ごみ収集車で家庭用のごみを収集していた。69箇所目のごみ置き場において同僚が置き場からゴミを取り出し、それを被災者が収集車に投げ入れていた。同僚がこぼれたゴミをまとめていた</p>			10～

2009	11	～ 10	ところ、突然、「ガタン」と音がして振り向くと、収集車の回転板が被災者をはさみこんでいた。すぐに緊急停止スイッチを押して、被災者を救出して救急車を呼んだが、同日に死亡した。	150109	7	29
2009	1	～ 20	アルミサッシの枠を製造するためのダイスとボルスターを自動搬送する設備において、被災者がボルスターと搬送機のクランプの間にはさまれた。	11209	7	300 ～ 499
2009	12	～ 22	旧館2階エレベーター乗り場付近で、被災者が操作していた構内運搬車（バッテリー式・牽引車）から牽引していたパレットを外した後、被災者が構内運搬車を後進させた時、エレベーターの乗り場側ドアに激突した。この激突によりドアが敷居からはずれてドアの下部に隙間が生じ、被災者はこの隙間から構内運搬車とともに1階に停止していたエレベーター搬器上に墜落し、搬器上のはりとハンドル等にはさまれた。	110101	1	1001 ～ 9999
2009	6	23 ～ 24	アルミニウムを溶解する設備において、アルミを投入（自動搬送）するバケットの底が閉まらなくなったため、溶解設備の脇にある点検場所においてバケットの底を閉めようとバケットの中に入って補修作業を行っていたところ、突然バケットの底が閉まりはさまれた。	11109	7	100 ～ 299
2009	8	4 ～ 5	本社工場内の炊飯室において、炊飯担当のパート被災者が、炊飯室に設置された食缶反転機と称されるリフトにおいて、使い捨て容器にしゃもじで米飯を盛るため、炊飯釜の蓋を取ろうとしていたところ、リフトのバーと炊飯釜の間にはさまれた。	10109	7	100 ～ 299
2009	3	13 ～ 14	被災者はハンドガイド式の土砂運搬車（クローラ式）を用いて土壁を壊した際に出た土砂を運搬していた。土砂を所定場所に押しあげた後、運搬車を方向転換させようと後進させたところ、運搬車に激突され、土蔵の壁との間に身体をはさまれた。	30209	6	10～ 29
		2	鉄筋の原料となる鉄屑を入れるバスケットを溶鉱炉まで運ぶための台車が、電気ケーブルの断線により突然停止したため、その復旧作業に			100

2009	5	3	<p>普段は立ち入ることのないピットに入り、ケーブルの交換を行っていた。交換作業後、被災者は作動確認のためピット内に残ったまま同僚に電源投入を頼み、電源が投入された瞬間に台車が動き、壁と台車にはさまれた。</p>	11001	7	<p>～ 299</p>
2009	3	15～16	<p>電柱運搬車に6本のコンクリート製の電柱を被災場所に運搬し、荷台から順次電柱を降ろす作業を行っていたが、3本目の電柱（長さ8.35m、直径18～30cm）の荷降ろし作業中、電柱の北側が荷台の端から飛来し、既に荷降ろしてあった電柱をバールで動かす作業をしていた被災者に当たり被災した。</p>	40301	4	<p>10～ 29</p>
2009	6	8～9	<p>卸売市場内において、停止中のモトラック（構内運搬車、タイヤ3輪（前1輪・後2輪）、最高速度15km/h、積載荷重1t、積荷なし）から約4m離れた道路上で、うつ伏せで倒れている被災者が発見された。発見時から意識不明の状態であり、病院に搬送されて治療が続けられたが、後日死亡した。</p>	80109	17	<p>30～ 49</p>
2009	1	18～19	<p>自動立体駐車場において、自動車運搬用の移動台車（搬器）の櫛状の棒（自動車の後輪が載る部分）と自動車を駐車させる駐車棚（櫛状の棒架台）との間にはさまれた。</p>	80409	7	<p>10～ 29</p>
2009	6	12～13	<p>客先の地上5階建て物流倉庫において、垂直搬送機（運搬機）の点検・整備作業中、垂直搬送部1階ピットにおいて、被災者が降下してきたカウンターウエイトにはさまれた。なお、カウンターウエイトは同僚作業者が5階の操作盤の搬器スイッチを起動させたため作動した。被災者の予定作業は地上部の垂直搬送部外側の水平搬送用ローラーコンベヤーの点検・清掃を行うものであった。</p>	11702	7	<p>1～9</p>
2010	1	8～9	<p>木材を集積するための前取機と呼ぶ機械設備の構成部分に木材を載せて所定の集積位置に移動し、被災者は木材を集積させるための部位であるフォーク部の稼働スイッチを入れた後に、上半身を前取機内部に入れたため、フォーク部の稼働部と前取機の外側フレームとの間に胸部が挟まれ窒息死したもの。</p>	10401	7	<p>1～9</p>

2010	1	8 ～ 9	アスファルト合材を製造するプラントにおいて、不具合が発生したため、被災者がその状況確認のために1人でプラント内に入り、運転を停止せずに作業をしていたところ、アスファルトを運搬するトローリーとプラントの支柱に挟まれたもの。	10804	7	10～ 29
2010	2	12 ～ 13	被災者が、林内作業車を運転していたところ、6m下の谷へ転落したものの。	60201	1	30～ 49
2010	4	9 ～ 10	コア・サービス（2次下請）の作業員が、「分級機」（スクリューコンベヤー）の修理（取替）作業を運転しながら行っていたところ、当該機械に足などを巻き込まれ死亡した。事故当日は、発注者の作業員1名、1次下請の作業員1名、2次下請の作業員2名が来ていた。	11702	7	1～9
2010	4	16 ～ 17	自動運転中のスキップホイストのピット床面とバケット底部の間に挟まれている被災者を同僚が発見したもの。スキップホイストは、トンネル状の傾斜したダクト内をバケットが昇降し、貯蔵タンクへ石灰を運搬する設備である。被災者は、バケット内に立ち入って付着した石灰を除去する作業を行っていた時、バケットが上昇を開始したので待避しようとしたが、ダクトとの間に挟まれてピット内に落下し、その後下降してきたバケットの下敷きになったと推定される。	10909	7	1～9
2010	5	17 ～ 18	産業廃棄物処理施設内道路清掃のための散水車に施設内調整池において給水作業中、散水車が後退しはじめ、給水作業を行っていた被災者が散水車と擁壁間に挟まれた。なお、当該作業は1人作業であったため、災害発生状況の詳細は不明。作業場所は調整池への取付け道路でスロープ（約8度）になっており、車止めの設置等散水車の逸走防止措置を講じていなかった。	150102	7	1～9
		9	パレット積みした発酵前の乳製品を発酵室のラックに移動させる自動ラインにおいて、定期的な保守作業を行っていた被災者が、当該ラインに設置された油圧式テーブルリフター（パンタグラフ式の荷上げ装置）の内部で、下降した荷台にはさまれた状態で発見され、医療機関			100

2010	5	～ 10	に搬送されたが死亡した。荷台の下降を防止するためのストッパーは使用されておらず、被災者がテーブルリフターの内部で清掃作業を行っていたとき、何らかの原因によりテーブルリフターの荷台が下降し、はさまれたものとみられる。	10101	7	～ 299
2010	7	15 ～ 16	コンベアーと一体に組み込まれ、品物を自動で2階に運搬する昇降設備（リフター）について改造工事をしていた。被災者が中に入ってボルトを6つ締める作業をしていたところ、突然リフターが上昇し、リフター床部分と外枠部分に上半身を挟まれた。設備内部に設置されているセンサーが被災者を感知し、品物が入ったと機械が判断し自動で動いたと思われる。	30302	7	1～9
2010	7	16 ～ 17	林業機械であるグラップル（機体重量13.5t）を搬出するために、伐採現場から約8kmの林道を自走中、進行方向に対して右カーブで約7度の下り坂のコンクリート舗装の地点で、右寄りに進路を取り過ぎたため、路肩をはみ出して、機械ごとバランスを崩して、右側の谷に転落して、運転していた労働者は頭部を負傷し死亡したもの。	60201	1	10～ 29
2010	8	11 ～ 12	被災者は、集材作業を行うため、林内作業車（スキッド）を運転し土場から伐採現場に向け作業道を走行していた。林内作業車の後方に集材用ウインチが設置されていることから、伐採現場には作業道の途中の三差路で方向転換し後進で向かう必要があり、林内作業車を数回切り返していたところ、路肩から林内作業車ごと転落した。林内作業車は、法面を100m転落し、被災者は法面の高さ約70mのところ、運転席から投げ出された。	60201	1	30～ 49
2010	10	11 ～ 12	指導員補助である被災者が、業務としてワゴン車で協力事業場より新聞紙等の古紙を回収し、古紙の引き取りを行っている業者に赴いて古紙の積み下ろし作業を行っていたところ、当該古紙を処理するためバックしてきた業者の労働者運転のショベルローダー（最大積載荷重1.0t）に太もも付近をひかれた。病院に搬送されたものの死亡した。ショベルローダー運転者の後方確認が不十分であったとみられ	130201	7	30～ 49

			る。			
2010	11	23 ～ 24	被災者は、製品を2段積みにするための搬送用機械の駆動モーターの車軸部分を直すために、1人で搬器の上に入り作業を行っていた。その後、搬器とフレームの間にはさまれた状態で発見されたものである。被災者が、故障箇所を直すために駆動チェーンを切断したことにより、駆動モーターの制動機構により停止していたカウンターウェイトが降下し、搬器が上昇したために挟まれたものとみられる。	10601	7	50～ 99
2010	11	12 ～ 13	労働者が製品が入庫されずたくさん溜まっていることを不審に思い、コントロールルームのパソコンを確認したところ、40分前に製品の供給が停止されていた。担当であった被災者に確認しようとしたが見当たらないため、自動倉庫内の停止されていたレーンを探したところ、自動倉庫のラックの梁とパレット自動搬送装置に首の下付近を挟まれている被災者を発見した。製品入庫時に異常があり搬送装置を手動に切り替え修理しようとしたところ、倉庫内は暗く懐中電灯も使用していないことから操作を誤ったとみられる。	10109	7	10～ 29
2011	6	10 ～ 11	墓地公園の墓石の設置工事において、ドラグ・ショベルで掘削した土をバケットに入れ、ハンドガイド式の運搬車で墓地公園に停めたトラッククレーンまで運んでいたところ、坂道を後退で進んでいた時に、運搬車とトラッククレーンの間に体を挟まれたもの。	10909	7	1～9
2011	1	10 ～ 11	光ファイバーにかかる電柱の設備工事のため、被災者は労働者A、Bと共に、傾斜5～6度の道路脇に高所作業車を止め、車止めをタイヤ4つ全てに置き、アウトリガーを張り出し、作業を開始しようとしていたところ、高所作業車が雪で滑りだしたため、被災者と労働者Aが2人で高所作業車を人力で止めようとしたところ、被災者が雪で滑って高所作業車の下面と地面の間に挟まれ、頭部陥没のため死亡したものの。	30301	7	1～9
		8	けん引用動力運搬機の定期自主点検のため、同運搬機で工場2階通路を走行し、下階に降ろすエレベーターに向かうところで、何らかの原			300

2011	6	～ 9	因によりエレベーターの扉を突き破りエレベーター箱上に転落、その際に頭を強く打ち死亡したものの。	11502	1	～
2011	9	14 ～ 15	製鉄工場の高炉に原料を投入するベルトコンベアーのギャラリー（四方を屋根・壁で囲む構造物）の波板の補修作業中、5名がギャラリー上の作業台車に乗って高炉方向に移動していたところ、台車を動かすウインチのモーターのケーシングが破断してモーターのシャフトが外れたため、台車が自重で自走（降下）し、約130メートル下方にあるベルトコンベアーのエンドストッパーに激突した。	30203	3	1～9
2011	9	2 ～ 3	大型トレーラーに廃棄自動車（プレス済）を積載し、市内の国道を走行中、左コーナーを曲り切れず横転、多発外傷により死亡したものである。	11209	17	30～ 49
2011	8	14 ～ 15	乗用の堆肥散布車を用いて農地に堆肥を散布後、農道沿いで堆肥散布車を単独で洗浄していた。しばらくして、同僚が農道脇の法面下において、堆肥散布車の下敷きになっている被災者を発見した（災害発生状況を現認した者はいない）。病院に救急搬送し、入院加療中であったが、約1カ月後、死亡したものの。	170209	6	30～ 49
2011	5	11 ～ 12	杉の苗木の植林作業を終えて、モノラック（動力車に長さ約2m、幅0.55mの荷台が連結されている運搬機）に3名が乗り下山していたところ、約40度の急勾配に差し掛かったところで当該モノラックがエンジンの異音とともにスピードの制御が不能となり、約20m滑走したところでピニオンの車輪が減速機の破損によりずれレールを噛み急停車した。これにより1名は途中で飛び降り難を逃れたが、2名は投げ出され立木に激突した。	60209	3	1～9
2011	3	15 ～ 16	自動包装機を運転し、板紙を包装するための給紙作業を行っていた被災者が、木製パレットを排出するためのテーブルリフターのテーブル上に上半身を入れていたところ、同テーブルが上昇し、同テーブルとテーブルリフターの鋼製枠との間に挟まれたもの。病院搬送後治療を	10601	7	10～ 29

			受けるも、3月8日15時40分死亡が確認された。			
2011	2	13 ～ 14	メッキ製品製造ラインにおいて、メッキ製品の入ったバケットを運ぶ装置が突然停止したため、これを確認するために被災者がライン内に入ったところ、同装置が突然動き出したため、同装置が運んでいたバケットとメッキ製品を乾燥させる槽との間に被災者が挟まれたもの。	11202	7	10～ 29
2011	4	17 ～ 18	被災者は、重量4.3t、幅1.78m、直径1.9mのロール紙を巻取り機から機械操作で台車の上に設置、垂直に降ろしてから、水平移動させたのち当該ロール紙の品質検査を行う予定であったが、台車リフターが降下した際に当該台車リフターの底部と台車基底部の間に胸を挟まれ、事故発生の2時間後窒息により死亡したもの。	10601	7	300 ～
2011	2	9 ～ 10	間伐した木材（直径14cm・長さ400cmの桧、約50本）を、林内作業車（フォワーダ、最大積載荷重4トン）に積載し、幅3.3mの作業道（未舗装）を走行していたところ、法肩から転落して運転していた被災者が当該車両の下敷きになった。	60201	1	10～ 29
2011	10	9 ～ 10	農業試験場内のヤシの害虫駆除作業中に、薬を散布する農業機械（スピードスプレーヤ、車両重量：2235kg）を移動させていたところ、下り勾配の作業路において法面に乗り上げ横転し、当該機械を運転していた被災者が、運転席より投げ出されたもの。	120109	2	10～ 29
2012	8	13 ～ 14	コンテナ船からコンテナの荷卸し作業のため、別事業場の労働者が運転する「リーチスタッカー」と呼ばれるコンテナ積卸専用機械が船とコンテナ置き場との間を往復していた。被災者は、コンテナの検数業務後に詰所へ行くため構内を歩行していたところ、コンテナを持ち上げ後退して来た同機械の右後輪に腹部を轢かれ即死した。	170209	7	1～9
2012	7	14 ～ 15	被災者は林内作業車を運転し、切り盛り土作業で発生した掘削土の運搬作業を行っていた。目的地に到着後、掘削土を降ろすため作業道で方向転換中、後進しすぎて林内作業車ごと約30m下まで斜度約45度の斜面を滑落し、横転している林内作業車から投げ出され、死亡した。	30106	1	1～9
			停電により停止した機械プレス（自動プレス・フリクションクラッ			

2012	1	16 ～ 17	<p>ち)の復旧・点検作業において、異音の発生場所を確認するため、プレスに付属する加工部品搬出用ベルトコンベアーに被災者が一人で上がり、部下にプレスを寸動で稼働させたところ、プレスに同期して作動するフィードキャリア（加工部品搬出装置）のフレーム部とプレスのフレーム部に頭部を挟まれた。</p>	11502	7	100 ～ 299
2012	1	10 ～ 11	<p>建材の成型を行う工場内で、当該成型作業に従事していた被災者は、モルタルカッターで所定の寸法に切断された際に発生する屑を吸着させダンパーまで移動する機械（吸引マット）と鉄柱との間に頭部を挟まれた。</p>	10901	7	100 ～ 299
2012	3	13 ～ 14	<p>伐木の造材作業を行った後、製品に出来ない木の先端部分2本を、事業主がグラップルを操作し谷側に移動させようとしたところ、その先で退避しきっていなかった被災者が、伐木と共に持ち上げられてしまい、そのまま谷側にはじき飛ばされるような形で約10m墜落した。</p>	60209	1	1～9
2012	8	8 ～ 9	<p>構内運搬車を運転していた被災者が半開き状態の冷蔵庫のシャッターに激突、救急搬送先の病院で脳挫傷により死亡した。</p>	80109	3	1～9
2012	8	9 ～ 10	<p>被災者は上から降りてきた垂直搬送機（搬器に袋を吊り、洗濯物を1Fから3Fへ上げる）搬器フレームとベルトコンベアー端部のすき間で、ベルトコンベアーに顔をのせて吊られた状態で首下を挟まれた状態で発見された。</p>	11703	7	50～ 99
2012	12	13 ～ 14	<p>合板分配用テーブルリフター（高さ180センチ）で油漏れがあったので、被災者は同僚と2人で出張修理に出向いた。テーブルを上げ落下防止の角材を設置し、油を抜き、油圧シリンダーのパッキンを取り換えた後、起動確認しようとしたところテーブル上限リミッターが働いて動かなかった。そのため、角材をはずしてテーブルを自重で下げようとした。バールを使用し、被災者が角材を取り除いたところ、テーブルが下降し、下敷きになった。</p>	11301	7	1～9
			被災者は荷役機械である連続式アンローダー（6CUL）のテーブル			

2012	4	15 ～ 16	フィーダー内部で主スクレーパーのライナーの磨耗状況、テーブルフィーダー底面ライナーの磨耗状況の検査作業を行っていたところ、急に6号機の連続式アンローダーのテーブルフィーダーが動き出したため、テーブルフィーダーと一体となって回転したテーブルフィーダーのステー（リブ）と、主スクレーパーに挟まれた。	11001	7	300 ～
2012	9	13 ～ 14	網船2隻と漁獲物運搬船（総t数6.2t、被災者と操舵者の2名が乗船）でシラス漁を行っていた際、漁獲運搬船に乗船していた被災者が船上におらず、行方不明となった。周辺を捜索したが見つからず、数日後海上で遺体が発見された。	70201	10	1～9
2012	6	2 ～ 3	コークス炉上で、原料コークスを石炭槽からコークス炉の炭化室へ運搬、仕込みをする「装炭車」のオペレーターをしていた被災者は、装炭車の最上階の床上に倒れているところを同僚により発見された。救急病院搬送したが、右半身を何かに挟まれており、搬送先病院で死亡した。なお、発見時、装炭車は自動運転モードとなっていた。	11001	7	300 ～
2012	10	16 ～ 17	被災者は、重機（油圧ショベルの先にグラップルを取り付けたもの）の燃料が入ったドラム缶を林内運搬車で坂道を上りながら運搬し、重機の手前の坂道上で止めたところ、林内運搬車の前方が浮き上がった。林内運搬車の浮き上がりを押さえるため、重機の運転手が重機の前で林内運搬車の前方を押さえていたところ、押さえが外れ、林内運搬車が後ろ向きに坂道を下り始めたので、被災者が止めようとし、林内運搬車と一緒に転落した。	60209	1	30～ 49
2013	11	3 ～ 4	被災者は、夜間に工場内の機械の監視業務を行っていた。被災者は一人で1階で作業していたが、製品が詰まった為機械を停止した上で解消しようと脚立に上がり作業中、エアで上下「く」の字に駆動するアームが製品の重みで下向きで停止していたが、被災者が製品を動かした為軽くなり残存するエアでアームが上に動き、製品が被災者側にきて製品と機械のパイプに胸を挟まれた。	10402	7	30～ 49
			被災者は、同僚6名と共に杉の間伐作業に従事していた。被災者の担			

2013	3	9 10	<p>当は、林内作業車による玉切材の運搬作業であった。災害発生直前の作業は、過去に集材できなかつた点在する玉切材を回収運搬するものであった。作業に先立ち、同僚のグラップル運転者が玉切材のある場所に移動し、被災者が林内作業車を運転し後を追った。グラップル運転者が玉切材をつかみ上げ、被災者が運転していた林内作業車に近づいたところ、当該作業車脇に倒れている被災者を発見した。</p>	60201	7	1～9
2013	12	13 14	<p>平屋住宅の屋根瓦葺替工事において、荷（瓦）揚機のはしごを使って屋根に上がろうとしたところ、はしごから屋根に移る際、約3.5m下の砂利敷の地面に墜落した。尚、ヘルメットは未着用であった。</p>	30209	1	1～9
2013	3	7 8	<p>被災者は、クレーン付きの一人乗り林内作業車を運転し林道を上り、集材現場に向かっていた。被災者より先行して現場に向かっていた同僚が大きな音とともに白煙が上がっているのに気付く、来た道に戻って確認したところ、林内作業車が運転席側に横転し、運転席でハンドルを握ったまま意識を失い、鼻から血を流している被災者を発見した。尚、横転場所は緩やかな右カーブで、14m程上った位置には林内作業車のタイヤ痕があった。</p>	10401	2	1～9
2013	7	15 16	<p>被災労働者は、地下2階のエスカレーターの上乗降口付近で、当該エスカレーター内部の調整作業を行っていた。当該エスカレーターは、調整作業のため踏み段が5枚取り外されており、被災労働者は上部乗降口からトラスの内部（深さ最大85cm）に転落し、作動していた当該エスカレーターに身体を巻き込まれた。</p>	30201	1	10～ 29
2013	1	12 13	<p>清酒のビン詰め工場において、スイーパー（空ビンを洗ビン機に供給するための自動搬送装置）が待機状態で停止していた際、近くでスイーパーの運転監視をしていた被災者が、高さ約2mのスイーパーに上がり、何らかの確認作業を行っていたところ、スイーパーが再起動したため、スイーパーと支柱との間に頸部を挟まれて死亡した。</p>	10105	7	50～ 99
		15	<p>被災者は、自動搬送機を用いて鉄製品の表面にどぶ付けめっきを施す工程において、走行してきた自動搬送機と柱の間にはさまれた。尚、</p>			

2013	3	～	被災者は、光線式安全装置が設けられていない箇所から自動搬送機の	11204	7	10～
		16	走行範囲内に立ち入り、手作業により試作品のどぶ付けめっきを行っ			29
			ていた。			
2014	12	～	コンクリート製台付管成型機での作業終了後、成型機上部にあるコン	10901	7	30～
		17	クリートを投入する装置のホッパー内側に付着したコンクリートを除			49
			去していたところ、装置にコンクリートを供給するホッパー（中継			
			ホッパー）が移動してきたことに気づかず、中継ホッパーと装置の			
			ホッパーとの間に挟まれた。			
2014	12	～	運搬機械でなめこ瓶の入ったコンテナをコンベアに移し替える作業	10109	7	10～
		15	中、機械がトラブルで停止し、機械の電源を切らずに復旧作業を行っ			29
		16	ていたところ、機械が稼働し、アームとコンベアの間に首がはさまれ			
			た。			
2014	10	～	車に設置された荷揚げ用昇降機を利用し、2階へ荷物の搬入作業をし	40301	1	50～
		10	ていたところ、荷揚げ用昇降機の荷台から5.9m下の駐車場に転落			99
		11	し、半身を強く打ち、死亡した。			
2014	10	～	間伐で伐採したスギの玉切り木10本を車両系木材伐出機械である走	60201	1	1～9
		12	行集材機械で運搬中、機体ごと作業道の路肩から約2メートル下の沢			
		13	に転落。被災者は機体の下敷きとなった状態で発見された。			
2014	9	～	加工材料の表面処理設備と、投入機との間に挟まれている被災者が発	11502	7	50～
		9	見された。			99
		10				
2014	6	～	木造加工ラインにて、木材を次のラインへ投入する動力運搬設備に故	10409	7	10～
		17	障が発生し、投入機の内部に入り、処理をしていたところ、押込機			29
		18	（プッシャー）とリフターのロールの間に胸部をはさまれた。			
2014	3	～	伐木した材をフォワーダを使用し集材中、フォワーダのグラップルを	60209	7	30～
		10	運転し、材を下ろしていたところ、運転席と材の間に挟まれ、死亡し			49
		11	た。			

2014	1	9 ～ 10	サトウキビ畑で収穫作業をしていた被災者は、バックしてきたハーベスターに轢かれた。	60101	7	1～9
2015	5	10 ～ 11	ごみ収集作業中の労働者が、何らかの原因で突然バックしたパッカー車と建物支柱の間に挟まれて死亡した。事故発生時、運転手は車外におりパッカー車の運転席は無人であった。	150103	7	10～ 29
2015	6	13 ～ 14	建設資材等を台船に載せ、タグボートで曳航しA埠頭からB島まで輸送していた。B港入口で被災者ほか1名がタグボートから台船へ乗り移って入港準備に取り掛かった。着岸前の合図時に被災者の姿が見えないことから付近を捜索したところ港から1.5km先の海上で被災者がうつぶせの状態で見えられた。	40102	10	1～9
2015	4	8 ～ 9	共同企業体から依頼された煤煙濃度測定業務を行うため、測定場所に向けてアスファルトプラント内を移動中、稼動していたトロリとサージビンフレームとの間に頭部を挟まれたもの。	150109	7	30～ 49
2015	3	8 ～ 9	生コン搬送用ホッパー下部の扉を開けてホッパー内部の清掃中、扉が閉まり、清掃作業を行っていた被災者の頸部が扉に挟まれたもの。	10901	7	10～ 29
2015	11	18 ～ 19	被災者等はフォークリフトを使用してドーリーから積み荷（ドイツからの空輸便）を降ろす作業を行っていた。積み荷の中央には、パレット付けされた荷の間に挟み込んでキャスター付きの折りたたみ式トランポリンが積み込まれていたが、当該トランポリン周辺の片側の積み荷が降ろされた際に、キャスターが動き、ドーリーの台座のすき間の溝に脱輪した後に倒壊し、被災者が下敷きとなったもの。なお、被災者は技能実習生であった。	50101	5	100 ～ 299
2015	3	11 ～ 12	工場の解体工事現場において、被災者は運搬車（クローラー式、歩きながら操縦するタイプ）に、廃材を積み込んだ後、地下の出入口へ前進していたが、何らかの要因で運搬機を後退させたところ、建物の梁（高さ1.1メートル）と運搬車の操作パネル部（高さ0.93メー	30209	7	10～ 29

			トル) との間に頭部を挟まれたもの。			
2015	8	8 ～ 9	被災者は、ゴルフコースのTグラウンド上の芝刈り後の芝をスイーパーと呼ばれる乗用集塵機で清掃作業中（運転）、Tグラウンド法面傾斜地でスイーパーが横転し、スイーパーの下敷きとなったもの。	150109	2	1～9
2015	11	15 ～ 16	工場内で、テーブル用の天板部材を製造する工程のうち、板材（24枚／組）を解体機（板材をテーブルリフターへ搬送する（載せる）為の機械）工程にて、解体機の爪部に載せられた板材が、テーブルリフターに搬送された際に1枚の板が解体機内に落下した為、被災者は解体機を停止させずに解体機内に立ち入り板材を拾おうとしたところ、稼働してきた解体機の爪部の根元と解体機本体の水平材との間に頭部を挟まれた（但し目撃者無）	10501	7	30～ 49
2016	12	13 ～ 14	収集車（パッカー車）から古紙（ダンボール）が搬出されるのを監視していた被災者は、ボデー（荷台部）から古紙が搬出されたあと、後方ホッパー部に近づき、ホッパー部回転板に頸部から上がはさまれた。	80109	7	1～9
2016	12	8 ～ 9	ごみ収集業務に出発するため、被災者は自身が運転するごみ収集車の暖気運転を行おうとごみ収集車の運転席ドアを開け、運転席に座らず外からエンジンをかけたところ、ごみ収集車が前方に動き出した。ごみ収集車は右側にハンドルを切るような形で前進し、当該ごみ収集車の右側に駐車していた別のごみ収集車に接触し、2台の間にいた被災者は、2台の車両に挟まれ被災した。	150102	7	100 ～ 299
2016	11	16 ～ 17	被災者は、堆肥散布機を運転して梨園の堆肥散布作業に従事していた。18時頃、同僚が梨の木の枝と堆肥散布機との間にはさまれている被災者を発見した。	60101	7	10～ 29
2016	11	14 ～ 15	被災者は、一人で停車中の散水車後部の散水タンクを取り外すため、車体底部にもぐりこんで作業中、散水タンクが落下し、激突された。	140301	6	10～ 29
			冷却床取出工程において、H形鋼（製品）を次工程に搬送する装置の			

2016	11	9 10	ストッパーが下がらないため、運転停止後、保全担当の被災者が、点検歩道下の狭隘な場所にある電磁弁の補修を行った。被災者は、補修後、狭隘な場所から退避することなく、当該装置の運転再開の合図を操作者あて無線で行ったため、被災者の左側にあった取出台車駆動ワイヤロープの巻取用ドラムが回転したとき、作業服が巻き込まれて被災した。	11001	7	300 ～ 499
2016	8	9 10	9時40分頃、落鉱を下ろす鉱舎に移動し、バキューム車の助手席側の操作盤で、後方のハッチを開け、タンクを上げてタンク内の落鉱を下ろした。後方ハッチの箇所にいた被災者が両手で○を示したので、操作者はタンクを元に戻し、後方のハッチを閉め、ロックを掛けようと操作した際、ロックが掛からなかったため、後方ハッチの箇所に行ったところ、タンクと後方ハッチとの間に頭部がはさまれている被災者を発見した。	11101	7	100 ～ 299
2016	7	10 11	被災者は、農業用トラクターにより牧草ロール1個（重量約450kg）を運搬するため、下り勾配約15度の農道を下っていたところ、農道から逸走した後、横転し、運転席から投げ出された状態で、同僚に発見された。当初意識があったが、救急搬送中に容態が急変し、その後死亡した。	70101	2	10～ 29
2016	1	10 11	ターレー運転中にエレベーターの乗場戸に衝突したため、戸が破損、生じた開口部から墜落し、約8m下の搬器上へ激突した。	80109	1	1～9
2017	10	22 23	製造機械の不具合により自動運転が停止したため、手動操作に切り替えた後、当該機械駆動部を覗き込んで復旧作業を行っていたところ、突然機械が動き出し、当該機械に上半身を挟まれた。	11305	7	100 ～ 299
2017	9	6 7	自動めつき装置ラインにおいて、製品を各めつき層に投入する搬送機械が下降してきたところに体が挟まれた。	11204	7	30～ 49

2017	8	12 ～ 13	被災者は機械のメンテナンス会社の労働者。災害が発生したのは、空き瓶を乗せたパレットを製造レーンまで持ち上げるリフター機械。被災者はリフターの下部に潜り込み、油圧シリンダーのエア抜き作業を行っていたところ、シリンダーのプラグが外れ油が漏れ出し、リフターが最下部まで落下したことで上から全身を挟まれた。発見時は心肺停止状態であったが病院で手術後に死亡した。	11702	7	1～9
2017	7	8 ～ 9	トロリーフィーダーのアーム昇降させる駆動モーターにつながっている減速機をオーバーホールするために、アームの下部に潜り込み、減速機の固定ボルトを取り外したところ、減速機出力部分とシャフトをつなぐチェーンが外れ、アームが自然落下し、アームと架台部分に頭部を挟まれた。	10402	4	300 ～ 499
2017	3	8 ～ 9	工場内のコンクリート搬送設備の操作スイッチを押して搬送用トロリー（かご上の台車）を遠隔操作で動かそうとしたが作動しなかった。同僚に操作スイッチを押して作動させ、かつ社長を呼びに行くよう指示をし、自らはトロリー点検台に登って配電盤を調べていた。同僚が戻ってきたところ、被災者が約3m下のピット上に倒れているところを発見された。	10901	1	10～ 29
2017	3	16 ～ 17	当該事業場は、農業機械の販売を事業としているが、顧客が耕うん機を運転して来店し、ロータリーと呼ばれるアタッチメントの試着を希望したため、当該事業場の労働者であった被災者が当該耕うん機に既に装着されていた「土運び」と呼ばれるアタッチメントを取り外す作業を顧客および他の労働者1名とともに行ったところ、うまく外れないため、耕うん機と土運びの間に侵入した際、耕うん機が後進し、これに轢かれた。	80209	6	1～9
2017	2	8 ～ 9	コンクリート製品製造での脱型作業時に、型枠下方にあるボルトをインパクトレンチを使用して取り外す作業をしゃがんで行っているところに、側方にある別の型枠が誤作動により移動し、型枠の足場と型枠の足場に胸を挟まれた。	10901	7	10～ 29

2017	1	8 ～ 9	建造中の船舶甲板に移動するために外部昇降路に設置された屋外エスカレーターに被災者が乗ったところ、プラスチック製の踏板（ステップ）が壊れ、エスカレーター内部に転落。被災者の体が床下フレームと後続の踏板に挟まれた。被災者が挟まれた状態でエスカレーターが動き続けていたところを発見され、3時間後に救出されたが病院で死亡が確認された。	11501	7	1000 ～ 9999
2018	10	10 ～ 11	ゴミ処理施設内のプラットホームで、一般家庭から収集した可燃ゴミの排出作業中、ゴミ収集車後部の扉（テールゲート）に頭部を挟まれたもの。	170101	7	1～9
2018	10	10 ～ 11	墓地内で基礎工事を行っていた際、ダンプカーから現場に砕石を移動させるため、現場に置いていたハンドガイド式運搬車（最大積載荷重650kg）を操作してバックさせたところ、背後にあったフェンスと運搬車操作用の手すりに腹部を挟まれたもの。	30199	7	1～9
2018	8	10 ～ 11	被災者はゴミ収集場所において同僚1名と作業していたところ、僅かな勾配となっていたことで塵芥車が下がりはじめ、止めようとした同僚が助手席に入りサイドブレーキを引く等をしたが、止まらず。民家の塀に塵芥車がぶつかり、その付近に倒れていた被災者が発見された。	150103	17	10～ 29
2018	8	12 ～ 13	工場のシャッター取付け工事において、長さ3.5mのシャッター（200kg）を高さ約3.5mの箇所にあるアンクル材に設置するため、既設設備の上ののり、エアリフトに乗せたシャッターを支えていたが、エアリフトのバランスが崩れシャッターとともに3.45m下の床に墜落した。	30203	1	1～9
2018	8	4 ～ 5	商品運搬車（モトラック）で南方向に走行中、運搬車から振り落とされ、頭部を強打した。その後入院していたが、後日死亡したもの。	80109	17	10～ 29
2018	2	14	射出成形機の金型交換の為、金型交換用自動搬送機で金型を移動させていたところ、金型と射出成形機の架台フレームとの間に挟まれ被災	11502	7	100 ～

		15	した。			299
2019	11	14	ゴミ収集車で資源ゴミ（新聞や段ボール等）を運搬する作業中、ゴミ収集車のホッパーの奥に残ったゴミの破片を取り除こうとしていた。作業員がホッパー内に頭を入れたまま、同僚に回転板を上げるように指示したところ、同僚が誤って回転板を下げるボタンを押したため、首が回転板に挟まれ死亡した。	150102	7	10～29
2019	11	10	漁船（8.5 t）左舷前方にて漁網を取り込む機械（2つのドラムが逆方向に回転し、ドラム間に網等を挟み、巻き上げるもの）を操作し、ロープを巻き上げていた被災者がドラムとドラムの間に左脇から腰部を挟まれ死亡したもの。挟まれた際、ドラムの回転方向は巻き上げとは逆の方向であった。	70201	7	1～9
2019	9	16	乗車禁止としている資材運搬用モノレールの台車に労働者4名が乗車し後退により移動中、被災者が装着していた墜落制止用器具の胴綱が台車下に垂れ下がってレール架台のボルトに引っかかり、被災者がレール上に転落、後退してきた動力車と補助レールとの間に挟まれた。	30209	1	10～29
2019	8	8	スクラップ材収集作業中、ハンドガイド式不整地運搬車を方向転換しようとして後進していたところ、背後の壁と運搬車の手すりに胸腹部を挟まれたもの。	30309	7	10～29
2019	6	2	被災者が5階のラックエリアにて固定されたラックの2段目の在庫の確認をしていたところ、他の労働者が移動式の電動ラックを被災者側へ動かしたため、固定式のラックと移動した電動ラックの間に挟まれたもの。後日収容先の病院で死亡した。	80401	7	10～29
2019	4	10	自動プレスの金型交換において、被災者は、全自動金型交換機を起動した後、金型交換機とプレス本体の間に立ち入り、何らかの作業を行っていたところ、金型交換機とプレス本体をかけ渡すブリッジが降下し、ブリッジとプレス本体の間に首を挟まれ、圧迫により窒息死亡した。	11203	7	50～99

2019	4	0 ～ 2	水産仲卸売場棟1階で、ターレット式構内運搬自動車（以下「ターレ」という。）を使って同棟4階へ集荷に行こうとした自動車運転者がエレベーターに乗り込む時、上から降りてきた扉に頭部が激突した。接触したことにより安全装置が作動し、扉は停止したが、加速したターレが前進したため扉に頭部がひっかかり、バックガードと扉の間に頸部を挟まれ、死亡したものの。	40301	3	30～ 49
2019	4	12 ～ 14	工場内において、木工加工用機械にて合板の仕上作業を行っていたところ、被災者がテーブルリフト（油圧式）の上部板と渡し板との間に胸部を挟まれ意識がなくなっているのを、通りかかった別の労働者が発見した。すぐに病院へ救急搬送されたが、当日深夜に死亡したものの。	10402	7	1～9
2019	3	8 ～ 10	工場棟の仮置きしていた動力運搬機（軌道付き電動台車）を東方向に移動させようとリモコンで操作したところ、当該動力運搬機が西方向に移動したため、電動台車が被災者に激突し、引戸と台車の間にはさまれたものの。	11209	6	10～ 29
2019	2	10 ～ 12	製品を運搬する油圧式リフターフレームと鉄製フレームの間に挟まれ、うつぶせの状態で倒れこんでいた被災者が発見されたもの。同リフターの油圧シリンダーについて災害発生前日に交換工事を実施しており、その稼働状況を確認している中で被災したものと推定される。被災者は胸部及び右上腕部を挟み込まれており、発見時点で心肺停止、自発呼吸再開後も意識不明の状態が続き、後日死亡した。	11502	7	100 ～ 299
2020	7	22 ～ 24	所属営業所における配車事務等と市場における構内運搬等を兼務している労働者が、市場内でターレットトラックで右折したときに角に置いてあったパレットに車両が乗り上げ、運転席から転落して左側頭部を強打し、救急搬送されたが同年8月14日に病院で死亡した。	40301	1	10～ 29
2020	7	20 ～ 22	のこ屑を溜めるサイロの中に入り、のこ屑の払い出し作業をしていた被災者が、何らかの理由でサイロ内下部で稼働しているスクリーコンベアに右腕を巻き込まれ、同僚に発見された。	10401	7	50～ 99

2020	4	20 ～ 22	被災者は、製材工場の合板製造ラインにおいて、厚さ12mmの合板を規定のサイズ（921mm×1818mm）にカットする工程の作業に従事していた。途中、製材が流れてこなくなったことを不審に思った同僚が被災者を捜索したところ、オートフィーダーと呼ばれる木材搬送装置（合板をベルトコンベヤーに全自動で供給する装置）の可動部と本体フレームの間に上半身を挟まれた状態で発見されたもの。	10402	7	100 ～ 299
2020	3	14 ～ 16	被災者は一人で2階へ上るエスカレーターの異音対応をし、2階降り口付近で、自動運転にして足踏みで異音確認中、踏段（水平の踏面と縦の蹴込み板が一体化の部品でステップとも呼ぶ）2枚を踏段チェーンから外した開口部が後方から来て、当該開口部（横1m×縦80cm（2枚分）、深さ1m）に落ち、降り口まで運ばれ、くし板（くし歯（踏面の溝に対応）が下面に並ぶ固定板）と後続の踏段に挟まれ、腹部が切断された。	170209	7	1～9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_05.html